

育成 見附

見附市青少年育成センター

〒954-0051 見附市学校町 2-7-9

TEL 0258-62-5739 FAX 0258-62-2343

E-mail ikuseicenter@city.mitsuke.niigata.jp

今年度事業の概要

令和2年度に実施した事業について、その成果などをお知らせします。

○青少年街頭育成

青少年指導員による青少年街頭育成活動は、1月、2月を除く各月に実施しました。

実施回数は61回で、昨年度に比べ1回増でした。

街頭育成活動に携わった青少年指導員の延べ人数は208人で、昨年度に比べ8人増です。

なお、3月は終わっていない活動があるため、表中の()は見込み数です。

活動中に指導した青少年の数は、延べ153人でした。このうち「交通ルール無視」に挙げた数は短時間で多数に声かけをしたもので、不正確です。実際にはさらに多いのが実態です。

声掛けの対象は中学生3人、高校生145人以上、一般青少年5人、小学生・幼児はいませんでした。前記のとおり、人数が確認できなかった対象は高校生でした。なお、この数は注意の声掛けをした少年の人数で、街頭で出会った少年への声掛けの数は含みません。

指導をした内容は、下表の「学職別指導内容」を参照してください。

「交通ルール無視」は、自転車運転での安全確認不履行、公道への飛び出し、無灯火、スピードの出し過ぎ、ながら(両耳イヤホン)でした。

道路交通法により、両耳にイヤホンを着けて自転車を運転することは違反行為になります。青少年指導員は、両耳イヤホンの自転車運転を「ながら(運転)」として、注意の声掛けの対象にしています。

「その他」は、見附駅で地べた座りをしていた高校生と若い外国人、見附駅駐輪場でスケートボードをしに来た若者への声掛け、です。

実施数・活動指導員数

	実施数	指導員延べ人数		
		男性	女性	計
4月	4	5	9	14
5月	4	5	8	13
6月	7	11	13	24
7月	7	13	10	23
8月	7	13	11	24
9月	7	12	10	22
10月	7	14	11	25
11月	7	16	9	25
12月	7	15	9	24
3月	(4)	(5)	(9)	(14)
合計	(61)	(109)	(99)	(208)

指導対象少年延べ人数

	対象少年延べ人数		
	男性	女性	計
4月	0	0	0
5月	2	2	4
6月	5	7	12
7月	9	5	14
8月	6	0	6
9月	0	15	15
10月	14	8	22
11月	30	30	60
12月	10	10	20
3月	-	-	-
合計	76	77	153

学職別指導内容

※ () は女性の数

学職 行為	幼 児 小学生	中学生	高校生	一般少年	計
ゲーム機遊び					
交通ルール無視			128(67)		128(67)
喫 煙					
買い食い		3(0)			3(0)
その他			17(5)	5(5)	22(10)
合 計	0(0)	3(0)	145(72)	5(5)	153(77)

○青少年育成相談

今年度の相談件数は、6件でした。そのうち、電話相談が2件、面接相談が4件でした。昨年度に比べ、3件増えました。

相談内容は、いずれも不登校に関することで、保護者と学校関係者からの相談でした。

相談件数

	面接相談	電話相談	合計
不登校	3	2	5
いじめ	0	0	0
その他	1	0	1
合計	4	2	6

○シェイクハンド学校訪問

シェイクハンド学校訪問は、市内の8小学校と4中学校を学期ごとに訪問し、各校の生活(生徒)指導上の問題について話し合い、問題解消に向けた支援を行うものです。学校教育課管理指導主事と青少年育成センター所長がペアで行いました。訪問の際は、いじめ、不登校(傾向)の児童・生徒についての話題がほとんどでした。

訪問回数

	1学期	2学期	3学期	合計
小学校	8	8	8	24
中学校	4	4	4	12
合計	12	12	12	36

○実施しなかった事業

例年実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため実施しなかった事業は次のとおりです。

- ・青少年を取り巻く社会環境実態調査
- ・青少年健全育成強調月間の街頭啓発活動
- ・「育成見附」の発行(例年3回発行していましたが、今年度は2回に縮減)

街頭指導報告から

6～12月

- 青少年指導員は、名札(指導員証)と腕章を着けて街頭指導に当たっています。
- 悪い行為を注意するだけでなく、道行く青少年をあたたく見守ります。

6月10日

駅利用の高校生は、新型コロナウイルス対応の休校が終わり通常の生活を取り戻しつつあるように感じられた。自転車の台数も迎える車も以前と変わらないほど増えた。女子高校生3～4人が、華道クラブの入部体験をしてきたと、色とりどりの花を持っていた。部活動も始まったようだ。

全体的に、新入生の駅利用のマナー順守が不十分な様子だった。4月の新学期に見る光景を今日見ることができた。高校生は全員マスクを着けていた。

6月25日

駅前で、歩道に座り話していた女子に話しかけた。東南アジアの19～20歳の若者5人で、介護の研修の迎えを待っているとのこと。通行人の邪魔になるので待合室へ移動をお願いした。素直に従ってくれた。

8月27日

今までにない猛暑で、高校は部活のない所が多く、17時台の電車は大勢の高校生ばかりだった。外が暑いので待合室に集中し、密状態だった。駐輪場2階の広場は、提灯が飾られお祭り気分だった。一部に人工芝が敷かれ、子どもの遊び場にもなっている。

9月8日

駅駐輪場2階の遊び場(交流広場)で、高校生4人が学校帰りに休憩していた。「学校はどうか」と質問した。「たいへんですよ。電車の中も密になっているし……」などと応えてくれた。このような場があってよいと喜んでた。

10月8日

駅駐輪場2階で男子に声を掛けた。スケボーをしに来たとのこと。使用許可時間がこれまでより1時間早くなって20時までになったことを知って、残念がっていた。規則を破ってスケボー禁止にならないようにと伝え、納得してもらった。当人は20時以降にその場から去った。

11月19日

駅駐輪場2階の広場開放が終わり、撤収をしていた。指導者の若者と話をした。スケボーの練習期間については、区長・市担当者の方の理解で続けられたことに感謝している。これから練習場がなく、愛好者の若者たちが無法的になることが心配だ。自分たちもがんばって指導するが、理解と練習場の提供をお願いしたい、とのことだった。